

償却資産申告書の記入方法

一部記入項目(住所、氏名、取得価額(前年前に取得したもの(イ))等)については、昨年度までの申告に基づいて印字しています。

申告年月日を記入してください。

個人番号又は法人番号:個人番号(マイナンバー)又は法人番号を記入してください。
 事業種目:事業の内容を具体的に記入してください。(例:製造業)
 法人の場合、資本金又は出資金の金額も記入してください。

令和 年 月 日
 有田市長殿

令和 2 年度 償却資産申告書(償却資産課税台帳)

受付印	1 住所 又は納税通知書送達先 (フリガナ)	649-0304 有田市箕島〇〇番地 (電話 83-〇〇〇〇)	3 個人番号 又は法人番号	〇
	2 氏名 法人にあってはその名称及び代表者の氏名	ゼイム株式会社 代表取締役 有田 一郎 (屋号)	4 事業種目 (資本金等の額) 〇 百万円	
			5 事業開始年月 年 月	
			6 この申告に回答する者の係及び氏名 (電話)	
			7 税理士等の氏名 (電話)	

※所有者コード	
新規に申告される方は、記入不要です。	
8 短縮耐用年数の承認	有・無
9 増加償却の届出	有・無
10 非課税該当資産	有・無
11 課税標準の特例	有・無
12 特別償却又は圧縮記帳	有・無
13 税務会計上の償却方法	定率法・定額法
14 青色申告	有・無

第二十六号様式(提出用)

8~14 短縮耐用年数の承認等
 各項目の有無等について、該当する方を○で囲んでく

償却資産申告に係る事務を委託している場合に記入し

償却資産が有田市のどこに

借用資産の有無について、該当する方を○で囲んでください。
 借用資産がある場合は、貸主の名称、住所等を必

資産の種類	取得価額			
	前年前に取得したもの(イ)	前年中に減少したもの(ロ)	前年中に取得したもの(ハ)	計((イ)-(ロ)+(ハ))(ニ)
1 構築物	5,000,000			
2 機械及び装置	98,500,000			
3 船舶				
4 航空機				
5 車両及び運搬具				
6 工具、器具及び備品	3,500,000			
7 合計	107,000,000			

前年中に減少した資産の取得価額の合計額を、種類別に記入してください。

前年中に取得した資産の取得価額の合計額を、種類別に記入してください。

『前年前に取得したもの(イ)-前年中に減少したもの(ロ)+前年中に取得したもの(ハ)』により算出した、取得価額の合計額を、資産の種類別

15 市内における事業所等資産の所在地	① ② ③
16 借用資産(貸主の名称等)	(有・無)
17 事業所用家屋の所有区分	自己所有・借家

該当する方を○で囲んでく

資産の異動について、該当する番号に○印を付けてください。
 なお、1.に○印を付けた場合は、種類別明細書を作成してください。
 廃業、解散、休業等の場合は、該当するものに○印を付け、「廃業(解散、休業)年月日」を記入してください。
 前年中に住所・氏名又は名称等に変更があった場合は異動年月日、事由等を記入してください。

資産の種類	評価額(ホ)	決定価格(ヘ)	課税標準額(ト)
1 構築物			
2 機械及び装置			
3 船舶			
4 航空機			
5 車両及び運搬具			
6 工具、器具及び備品			
7 合計			

記入の必要はありません。
 ※ただし、電算処理により全資産申告を行う場合は記入が必要です。
 ※課税標準の特例の適用を受ける資産については、その決定価格に特例率を乗じて得た額が、その資産の課税標準額となります。

18 備考(添付書類等)
該当する番号に○印をつけてください。 [申告内容について] 1.増加減少資産あり(別紙種類別明細書記入) 2.昨年の申告資産に増減なし 3.該当資産なし
[異動事項] 該当する項目を○で囲んでください。 (異動年月日: 年 月 日) 1.廃業、解散等 2.市内事業所廃止 3.名称(氏名)の変更 4.送付先の変更 5.その他(具体的に記入してください。)

資産の異動について、該当する番号に○印を付けてください。
 なお、1.に○印を付けた場合は、種類別明細書を作成してください。
 廃業、解散、休業等の場合は、該当するものに○印を付け、「廃業(解散、休業)年月日」を記入してください。
 前年中に住所・氏名又は名称等に変更があった場合は異動年月日、事由等を記入してください。

記入漏れがないか、再度見直してから、ご提出ください!

○お問い合わせ先 有田市役所税務課資産税担当
 電話 83-1111内線514